

第11回

みらい

未来

担い、手養成塾

活動報告書



とき 平成27年3月20日(金)18:30～
ところ 倉吉市役所 大会議室

<第11回内容>

最終回の今回は**最終報告会**と題し、これまでの活動の成果について市長及び市関係課へ報告・提案を行いました。

<発表概要>

【Aグループ】 「子ども就学ファミリーの定住&IUJ(移住)」

- これまで子育て世帯を対象とした支援策を議論し、担当課や住民へヒアリングを実施。
- 県の人口移動調査やヒアリングの結果から、これまで**住環境**や**保育料の安さ***を理由に若い世帯が近隣町へ転出している実態を把握。 ※保育料については、現在ほとんど差はない。
- 子どもの誕生をきっかけに市外へ転出する世帯を減らすため、11月の政策発表会で市長から指摘された点である斬新さを意識し、**大胆な夢のある施策**を提案。



■ 子育て応援住宅 くらすけくん

- サービス付き高齢者向け住宅の若者版→サービス付き若者専用住宅「くらすけくん」
- 保育や学習施設、店舗等が複合的に入居し、比較的安い家賃で若い子育て世帯が安心して暮らすことができる住宅を建設。



サービス付き高齢者向け住宅（サ付高住）

↓
これの若者版

サービス付き若者向け専用住宅
（子育て応援住宅）
くらすけ
暮らす家くん と命名
別名 **CLASS家くん**

サービス付き若者向け専用住宅とは

保育 複合化重点整備地区 医療
土地利用の誘導

学習 店舗

■ スーパーくらすけくん Z

- 「サービス付き高齢者向け住宅」とサービス付き若者専用住宅「くらすけくん」を一体化し、**多世代交流型の住宅**としてみんなで子育て、親育ちを促進。

■ くらよし放課後アクション&児童手当の拡充 <<塾長講評>>

- 政策発表会でも提案した施策により、仕事と子育ての両立を図り、経済的にも支援。

- 政策発表会時よりも裏付けとなるデータが揃い、説得力が増した。
- 市長からの指摘を受け、独自性のある思い切った提案である。
- 大都市ではない地方都市において実現が可能かどうかは議論の余地があるが、地方創生、人口減少対策を考える上では、あらゆる手段を検討することが重要になる。



これらを併せることにより...

**良好な子育て・住環境を創出し、
移住定住促進へつなげる！**

【Bグループ】 「頑張るあなたに出会いたい～Face to faceな倉吉市～」

- これまで市民団体の活性化を目指して議論を行ってきた。
- 市担当課や市民団体へヒアリングを行った結果、両者の認識に隔たりが見られた。
 - 倉吉市
 - ・団体の登録制度を設けており、NPOに限らず情報提供を行っている。
 - ・年度末に助成団体の活動報告会を実施し、団体同士の交流会も行っている。 等々
 - 団体
 - ・市の担当者が異動等ですぐに代わってしまい、気軽に立ち寄れる窓口がほしい。
 - ・横の他団体や類似団体との交流や情報交換をしたい。 等々
- 認識の差を埋めるために両者の連携強化や横のつながりの強化を図る施策を提案。

■ 突撃・隣の家庭訪問

- ・各種団体の概要を記したパンフレットを作成し、登録されている団体のもとを訪問する。
- ・作成したパンフレットをただ送付するだけでなく、実際に訪問して様子をうかがうことで「顔が見える行政」、「頼られる行政」を目指す。



政策提案

先気。発信！
くらしよし

倉吉市ならではの秘めた底力・財産である「くらしよし(市民活動団体)」を再発見・発信し、地域の「産福団」として倉吉市を元気にします！

- ①子育て、健康など行政の手の届かない部分、分野を担っているので、活発になれば市民サービスの向上へ大きな手助け(委託も含めて)となりえるでしょう。
- ②「頑張る人たち」をもっと応援することで、市政に対してより市民目線の意見や提案を反映することが出来るのではないのでしょうか。
- ③人口減少に伴い、世代間交流も希薄になりつつあります。市民活動がその抑制の一翼になりうる可能性を秘めているので、活性化により、老若男女が交流し合える市政を目指すのではないのでしょうか。

■ 現行の補助金交付要綱の見直し

- ・多くの団体の活動は、ボランティアの色合いが強く、活動に係るメンバーひとりひとりの金銭的な負担が大きいため、現行の規定では認められていない運営スタッフの昼食代といった飲食費、交通費等が補助対象となるように規定の改正を行う。

これらを併せることにより...

公共の一翼を担う市民活動を応援し、
 倉吉の活性化を図る！

《塾長講評》

- ・市民団体という倉吉市にすでにある資源を活かし、その活動を活発にするための提案。
- ・行政と民間の間に認識のギャップがあるというのは、非常に重要な指摘。
- ・行政は、ぜひこのギャップについて考えてもらい、提案の内容をくみ取ってもらえれば。

＜最終報告会を終えて＞

1年間に及ぶ本事業がついにラストを迎えました。最初のころは硬さも見られた塾生同士ですが、長い活動をとおして強いつながりを得たように思います。

第一期生の皆さんは最終報告会をもって当塾の活動を終わりますが、これまでの活動で得た経験や知識、つながりを活かして地域づくり等、様々な場面で今後活躍してくれることと期待しています。

1年間本当にお疲れ様でした！

(事務局)

発行：未来担い手養成塾事務局
 (倉吉市総合政策課)



＜市長全体講評＞

- ・それぞれ仕事を持ちながら限られた時間で取り組んでいただいたことに感謝したい。
- ・Aグループ。何かものをつくる際には、単一ではなく機能複合的に考える必要があるため、その点は非常に良い着眼点だった。
- ・Bグループ。行政独りよがりの取り組みではダメ。互いにどこかで摺りあわせが必要で、どこでそれをするのが重要。
- ・時間等との兼ね合いもあり、どちらの発表もまだまだ詰め甘い部分があるが、各部署の職員は前向きに受け止め、取り入れられる点については取り入れるように検討すること。

